

日 本 史

I 次の文章を読み、空欄 A ~ D にもっとも適当な語句・人名などを記入し、かつ(a)~(k)の問いに答えよ。

いつの時代においても、自然の脅威は人々の生活に重大な影響を及ぼすため、常にその動きに注意を払いながら、万全の備えをする必要があった。しかし、可能な限りの備えを施しても、さらにそれを凌ぐ勢いで自然は襲いかかってきたため、人々は願望を込めて、自然を靈魂が宿る存在として捉え^①、これに働きかけ、意思の疎通をはかることで、最悪の事態を回避しようと努めたのである。

いまだ採集経済の段階にあった縄文時代においても、自然の「靈」を信じ、祈りという行為を通じて、彼らの願いが聞き届けられることを期待した。またそのために、様々な造形がなされたが、東日本で多く見られ、女性を象ったものが多いAは、収穫や子孫の繁栄を願って造られたと推定されている。

弥生時代になって生産経済の段階に入ると、周期的におこなわれる稻作は、自然の要因が大きく収穫に影響を及ぼす作業であったことから、豊作を祈願する共同祭祀が発達し、本来は実用品であった青銅器も、祭祀を目的として製作されるようになった^②。また集団としての作業が生産に重要な意味を有するがゆえに、その指導にあたる者には、集団を統率するうえで、呪術面での優れた能力が期待された。邪馬台国の女王卑弥呼が、「Bに事えよく衆を惑わす」と『魏志』倭人伝に記されているのは、何よりこの時代の首長の性格を表している。

大和政権の首長である大王、すなわちのちの天皇もまた、同様の性格を継承し、神々を祀ることを重要な務めとした。そのために、6世紀になって朝鮮半島経由で仏教が日本に伝わると、安易に異国の信仰を受容するのは在来の神々の怒りを招くとして反対の意見が示され^③、激しい対立が生じた。朝廷が一致して仏教の受容・興隆に踏み切ったのは推古天皇の時代で、蘇我馬子や聖徳太子が中心となって様々な事業が展開されたと伝えられる。

唐は外来の仏教と、中国在来の信仰であるCとの二つの信仰を基盤としたが、日本もまた、律令体制の構築に際して、仏教と在来の信仰の双方を体制に取

り入れた。在来の信仰を担当する機関として、一般行政を司る太政官と並んで

D を設置して諸国の神社を統括し、また、皇室の祖先神を祀った神社には、^⑤
天皇の娘が斎王として遣わされた。一方仏教は、都に建設された官大寺を中心に、
朝廷の管理下で得度が許可された僧尼が仏教教学の研鑽や山林修行に努めた。僧尼
^⑥になると、戸籍や計帳から除かれ、公民が負担する税は免除されたうえに、寺院を通じて生活の糧が給されるといった特権を有したが、一方で、その生活は朝廷の定められた僧尼令などにより、細部にわたって規制が加えられた。

当初は、天皇の存在意義に直接結びつく在来の信仰を主とする宗教政策が展開されたが、次第に仏教信仰熱が高揚し、入唐して学問を修め帰国した僧がもたらす情報や知識に基づき、唐のあり様に倣った仏教興隆事業が展開された。とりわけ、8世紀の天平年間には多くの新しい企画が打ち出され、在来の神々もまた、仏教の興隆を喜びこれに協力する存在であるとして、新しい観念が形成された。

平安時代になると、密教が本格的に日本に伝わり、その呪術的効果に多くの期待が寄せられて、さまざまな場で修法がおこなわれた。密教では特に、山林修行が重視されたため、仏教の伝来以前から信仰の対象とされた山に対する觀念と相まって、在来の信仰と仏教との新たな融合が生じた。その意義を明確にする必要から、本来成文化された教義を持たなかった在来の信仰に、仏教の教義を適用した新しい意義が付与されるようになり、神道と呼ばれる信仰の体系が形成され、やがて著名な神社も有力寺院の管理下に置かれるようになった。^⑩
^⑪

(a) 下線部①に関連して、このような信仰を何というか。

(b) 下線部②に関連して、300本以上もの銅劍をはじめ、銅鐸や銅矛が発見されたことで知られる、弥生時代の遺跡を下から一つ選び、記号で答えよ。

- | | |
|----------|----------|
| Ⓐ 岩宿遺跡 | Ⓑ 荒神谷遺跡 |
| Ⓒ 吉野ヶ里遺跡 | Ⓓ 池上曾根遺跡 |

(c) 欽明朝に百濟から仏教の文物が伝えられた際、下線部③のような意見を述べて仏教受容に反対した大連は誰か。もっとも適当な人物の氏名を答えよ。
おおむらじ

- (d) 下線部④に関連して、推古天皇の時代のできごととして、**適当でないものを下から一つ選び、記号で答えよ。**
- Ⓐ 「篤く三宝を敬え」という仏教崇拜を命じる法が制定された。
 Ⓛ 塔を中心に、三つの金堂がこれを取り囲む伽藍配置の寺院が建立された。
 Ⓜ 高句麗から惠慈、百濟から惠聰といった僧が来日し、仏教の教義を教えた。
 Ⓝ 天皇の発願により、大規模な金堂をもつ百濟大寺が建立された。
- (e) 下線部⑤に関連する説明として、もっとも適當なものを下から一つ選び、記号で答えよ。
- Ⓐ この神社は、東山道に属する国に設置され、その国は神社に奉納する物品を生産することが義務づけられた。
 Ⓛ この神社の社殿は、切妻・妻入の独特の建築様式で建てられ、大社造りと呼ばれている。
 Ⓜ この神社の内宮には皇室の祖先神が、外宮には、応神天皇の母である神功皇后がまつられた。
 Ⓝ この神社の外宮の神職である度会家行は、鎌倉期に『類聚神祇本源』を著し、北畠親房らに影響を与えた。
- (f) 下線部⑥に関連して、平城京の官寺では、南都六宗と総称される、六つの仏教の教義体系に関する研究がおこなわれたが、南都六宗の一つとして、**適當でないものを下から一つ選び、記号で答えよ。**
- Ⓐ 法華宗 Ⓛ 倶舍宗 Ⓜ 律宗 Ⓝ 三論宗
- (g) 下線部⑦に関連して、集団を率いておこなった社会活動が、僧尼令の諸規定に違反するとして名指しで批判された僧は誰か。
- (h) 下線部⑧に関連して、唐から多数の經典と共に新しい情報をもたらし、朝廷に厚遇された僧や学者が政界で活躍した。これに反発し、彼らの排除を求めて、九州で武力蜂起した人物は誰か。もっとも適當な人物の氏名を答えよ。

- (i) 下線部⑨に関連して、天平期の仏教興隆事業について述べた文章として、適当でないものを下から一つ選び、記号で答えよ。
- Ⓐ 国ごとに国分寺と国分尼寺が、それぞれ金光明最勝王経と法華経の思想に基づいて建立された。
- Ⓑ 相次いで生じた社会異変の終息を願って、写経事業が展開された。その一部は、正倉院に残されている。
- Ⓒ この時期に聖徳太子の斑鳩宮跡に建立された堂宇は、法隆寺東院と呼ばれ、伝法堂や夢殿などの建築物が伝わっている。
- Ⓓ 華厳經の教えに基づき盧舎那大仏の造立が企画され、當時都の置かれていた恭仁の地で着手されたが、のち平城京の東隣で継続された。
- (j) 下線部⑩に関連して、在来の信仰と密教や陰陽道などが融合する形で平安期に盛んとなった山岳信仰を何というか。
- (k) 下線部⑪に関連して、院政期に比叡山延暦寺の僧兵が強訴をおこなう際に、近江国のある神社の御輿を担ぎ出した。この神社の名称を答えよ。

II 次の史料[1]～[3]を読み、(a)～(o)の問い合わせに答えよ。なお、史料は読みやすく改めている箇所がある。

[1] 東寺御領 A 国太良御荘百姓等謹みて言上す。

早く前例に因准せられ、根本の御例に任せて、御哀憐を垂れられ、御免の御成敗を蒙らんと欲する条々の愁ひの状。

右、明王聖主の御代と罷り成り、随って諸国の御所務は旧里に帰し、天下の土民百姓等、皆以て貴き思を成すの条、其の隠れ無き者なり。就中、当荘の職に於いては、根本より当寺御領として、C 非勘を致さるる時は、御沙汰を経られ、C の非法を停止せられ、百姓等を不便に思し食さるる者なり。爰に去る正安年中より以来、C 職に於いては、関東御領と罷り成り、非法横法を張行せらると云々。D の御年貢御所務悉く相違せしむ。随って百姓等責め損ぜられ、衰微せしむるの条、勝げて計ふべからざるの処、関東御滅亡、今は当寺御領と罷り成り、百姓等喜悦の思を成すの処、御所務曾て以て御内御領の例に違はず、剩へ新增せしめ、巨多の御使を付けられ、當時農業の最中呵責せらるるの間、愁吟に絶えざるに依り、子細を勤して言上す……

(1334)
建武元年五月日

③ (『東寺百合文書』)

- (a) 空欄 A にあてはまる、もっとも適当な語句を答えよ。
- (b) 下線部①は、具体的には建武元年に天皇であった人物を指している。この天皇の名を答えよ。
- (c) 空欄 B ~ D にあてはまる語句の正しい組み合わせとして、もっとも適当なものを次の表から一つ選び、記号で答えよ。

	空欄B	空欄C	空欄D
Ⓐ	本 所	守 護	領 家
Ⓑ	領 家	地 頭	本 所
Ⓒ	本 所	守 護	預 所
Ⓓ	領 家	地 頭	預 所

(d) 下線部②は、具体的に誰の所領を指しているか。もっとも適当な語句を下から一つ選び、記号で答えよ。

- Ⓐ 天皇 Ⓛ 得宗 Ⓜ 将軍 Ⓝ 上皇

(e) 下線部③の史料名は、江戸時代に、ある藩の藩主が東寺文書の収蔵のため、約100個の桐箱を寄進したことにちなんで付けられたものである。その藩名を答えよ。

[2] 九月 日、一天下の土民蜂起す。徳政と号し、酒屋・E・寺院等を破却せしめ、雜物等ほしいまま恣④にこれを取り、借錢等悉くことごとこれを破る。官領(管)これを成敗す。凡そ亡國の基およ、これに過ぐべからず。日本開白以来、土民蜂起是れ初めなり。

(『大乗院日記目録』)
⑥

(f) 上の史料は、將軍代替わりの時期に相当する正長元（1428）年のできごとについて、記したものである。この翌年、將軍となった人物がおこなった政策のうち、もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- Ⓐ 戦乱を避け、京都東山に山荘を営んだ。
Ⓑ 関東管領の協力により、鎌倉公方を討伐した。
Ⓒ 六角氏征伐のため、近江に出陣した。
Ⓓ 六分一殿と称された山名氏を挑発し、勢力を減退させた。

(g) 下線部④に関連して、大和国のある郷の農民が、「正長元年ヨリサキ者(前)は
(神戸) (筒) (郷) (負目) カンベ四カンガウニヲ年メアルベカラズ」という徳政宣言の碑文を残している。その郷名を答えよ。

(h) 空欄Eにあてはまる、もっとも適当な語句を答えよ。

(i) 当時下線部⑤の地位にあった人物として、もっとも適当な人名を下から一つ選び、記号で答えよ。

- Ⓐ 赤松満祐 Ⓛ 山名宗全 Ⓜ 島山満家 Ⓝ 細川政元

(j) 下線部⑥は、ある大寺の門跡（寺院）の名である。その大寺の名を答えよ。

[3] すべて村内にても、Fといへるよき地所は、みな福有等が所持となり、Gにして実入り悪き地所のみ所持いたし、……福有なるものは、ひたものよき地所を高少なくして買ひ取り、困窮人は悪田に多分の高を負ひて、年貢も格外に出だし、諸役も余分に勤むる故、損に損を重ねるなり……百姓の⑦一揆徒党など發る場所は、極めて右体の福有人と困窮人と偏りたるなり。百姓の騒動するは、領主・地頭の責め誣ぐる事のみにはあるべからず。必ずその土地に有余のものあつて、大勢の小前を貪るゆゑ、苦痛に迫りて一揆など企つるなり。

(『H』)

- (k) 空欄Fにあてはまる、もっとも適當な語句を答えよ。
- (l) 空欄Gにあてはまる、もっとも適當な語句を答えよ。
- (m) 下線部⑦に関連して、この時代、本年貢のことを、ほかに何と称したか。
漢字4文字で答えよ。
- (n) 下線部⑧に関連して、現在確認されている江戸時代から明治時代初期にかけての百姓一揆の件数として、もっとも適當なものを下から一つ選び、記号で答えよ。
 - Ⓐ 約1,800件 Ⓟ 約3,700件 Ⓡ 約5,200件 Ⓢ 約7,300件
- (o) 空欄Hには、出典として、「武陽隱士」が著わしたとされる書名が入る。当時の世相を論評したこの書名として、もっとも適當なものを下から一つ選び、記号で答えよ。
 - Ⓐ 世事見聞録 Ⓟ 経世秘策 Ⓡ 経済録 Ⓢ 享保世話

III 次の文章〔1〕・〔2〕を読み、空欄 [A] ~ [N] に最も適当な語句・

人名などを記入し、かつ(a)~(f)の問い合わせに答えよ。

〔1〕 日清戦争の敗戦の結果、清国が弱体化したのに乘じて、イギリス・フランス

・ロシア・ドイツなど列強の清国に対する領土割譲、利権獲得競争が激しくな

った。そのなかでロシアは [A] 半島南部の都市である [B] と大連を

25年間租借することとなつたが、日露戦争後のポーツマス条約により、両都市

の租借権は日本に譲渡された。その後、大連には1906年に設立された半官半民

の国策会社である [C] 株式会社の本社が当初置かれ、以後の満州植民地

経営の基地として大きな役割を果たしていくようになった。

一方、日清戦争終結以降、国内においては、軍備拡張や産業振興に向けた政

局運営がなされた。第2次伊藤博文内閣が [D] 党と妥協して連立内閣を

構成し、軍備拡張や産業振興に向けて積極的に乗り出したのはその現れである。

しかし、その財源にあてるために各種の増税を試みたことは、政党勢力の反発

を呼び起こした。なかでも [E] 増徴はその財源確保の要であったが、い

わゆる政党勢力の反対により実現に至らず、ようやく第2次 [F] 内閣に

至って [E] 増徴案が議会を通過した。

こうした財政政策とともに、政府は特殊銀行を設立して植民地経営を円滑に

おこなうための外資の導入・資本輸出を試みた。

(a) 下線部①に関連して、列強諸国とそれぞれが獲得した租借地の正しい組

み合わせとして、もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

Ⓐ 九竜半島・威海衛—イギリス、膠州湾—ドイツ、広州湾—フランス

Ⓑ 九竜半島・威海衛—ドイツ、膠州湾—イギリス、広州湾—フランス

⑤ 九竜半島・威海衛—フランス、膠州湾—ドイツ、広州湾—イギリス

⑥ 九竜半島・威海衛—イギリス、膠州湾—フランス、広州湾—ドイツ

(b) 満州における多角的な事業経営を担った C 株式会社に対して、朝鮮における土地開発をはじめ、営農・金融などの諸事業をおこなうために、日韓両国政府によって1908年に設立された国策会社はどれか。もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- | | |
|----------|---------|
| Ⓐ 交詢社 | Ⓑ 玄洋社 |
| Ⓒ 東洋拓殖会社 | Ⓓ 漢冶萍公司 |

(c) 下線部②に関連して、特殊銀行のなかで、産業資金の融資機関として1902年に設立され、外資導入などに大きな役割を果たした特殊銀行はどれか。もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- | | |
|--------|----------|
| Ⓐ 農工銀行 | Ⓑ 横浜正金銀行 |
| Ⓒ 日本銀行 | Ⓓ 日本興業銀行 |

[2] 満州事変以降、日本は満州における既得権益の擁護と拡張に向けてさまざまな画策をおこなった。「満州国」承認の既成事実を作るため、リットン報告書の提出に先立って、1932年9月に満州における日本の既得権益の承認と日本軍の駐屯を規定した G を、「満州国」との間に取り結んだのはその現れである。

1933年に至って、日本は河北省と H 省に進撃し占領した。この日本の支配を事実上黙認するかたちで、日本と中国国民政府との間に結ばれた塘沽停戦協定によって非武装地帯が設けられた。以後日本は、それを国民政府の支配から切り離す狙いに立った、いわゆる I 工作を展開し、中国側のさらなる危機感を呼び起こすこととなった。

こうした日中間の軍事的緊張関係の深化に対応して、国内においては犬養毅・斎藤実・岡田啓介内閣の蔵相を務めた J が主導する積極財政政策が展開され、また産業政策においては重化学工業部門の振興に力点が置かれる。1934年のいわゆる製鉄大合同によって半官半民の製鉄会社である K 会社が創立され、鉄鋼生産をほぼ独占するに至ったのはそれを象徴するものである。

一方、満州においては、日産コンツェルンなどに代表される新興財閥が、軍部と結びついて経済活動において大きな役割を果たした。⁽³⁾

日中戦争が開始されると、これらを含めた企業への国家統制が強化された。その計画の中心となったのは、1937年10月に企画庁と資源局を合併して創設され、「経済の参謀本部」ともいわれた L であった。翌年4月には、この L が立案した M 法が公布された。M 法は戦時経済運用の中⼼的な法律であり、これによって労働力や物資の割りあてなどに関する統制を、議会を経ずに、勅令でおこなうことが可能になった。たとえば、国民を強制的に重要産業に就労させるために、1939年7月に公布された N 令は、その代表的なものであった。

これら戦時体制下における統制経済の経験は、戦後の復興政策にも一定の影響を及ぼすことになった。⁽⁴⁾

(d) J が実行した特色ある財政政策の一つとして、もっとも適当なものを下から一つ選び、記号で答えよ。

- 金輸出再禁止 金輸出解禁
 金融緊急措置令の公布 賃金統制令の公布

(e) 下線部③の日産コンツェルンを結成した人物は誰か。もっとも適当な人名を下から一つ選び、記号で答えよ。

- 大河内正敏 野口遵 鮎川義介 井上準之助

(f) 下線部④に関連して、戦時下の統制経済を企画・立案した官僚を新官僚ないし革新官僚と呼ぶ。その代表的人物の一人で、戦前に満州経済開発計画の推進に携わったほか、東条英機内閣で商工大臣に就任し、戦後は首相を務めた人物は誰か。もっとも適当な人名を下から一つ選び、記号で答えよ。

- 岸信介 吉田茂 福田赳夫 池田勇人